

産業廃棄物処理計画実施状況報 報告書の提出年月日を記入してください。

(あて先) 姫路市長

記入例

令和 00 年 00 月 00 日

記入にあたっては、第3面をご確認ください。

提出者

住 所

姫路市安田〇丁目〇番地

氏 名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)

株式会社〇×△□

代表取締役 〇〇 △△

電話番号

079-221-0000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 00 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

本報告書提出の前年度に提出した計画書の対象年度(前年度)を記入してください。

事業場の名称

株式会社〇×△□ 姫路工場

事業場の所在地

姫路市安田〇丁目〇番地

事業の種類

プラスチック製造業(1635)

日本標準産業分類の細分類(4ケタ)を記入してください。

産業廃棄物処理計画における計画期間

令和 00 年 4 月 1 日から令和 00 年 3 月 31 日まで

本報告書提出の前年度に提出した計画書の計画期間(前年度の4月1日から3月31日までの期間)を記入してください。

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1500 t	全処理委託量	850 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	300 t	優良認定処理業者への処理委託量	300 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	〇前年度に作成した処理計画を見て、各項目における目標値を記入してください。(※必ずt(トン)単位で記入してください。)		250 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	200 t	認定熱回収業者への処理委託量	200 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	100 t

※事務処理欄

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

産業廃棄物の種類を記入し、種類ごとに表を作成してください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

(単位:t)

計画書に記入する実績値となります。

項目	実績値
① 排出量	1,000
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	210
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	150
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	640
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	300
⑫ 再生利用業者への処理委託量	500
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	200
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	300

② 自ら直接再生利用した量

200

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④ 自ら中間処理した量

200

④のうち熱回収を行った量

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

50

⑦ 自ら中間処理により減量した量

150

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

10

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

500

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

200

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

300

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

640

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

300

⑬ 委託中間処理後の再生利用量(⑬-⑭)

50

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

500

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

200

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

300

⑬ 委託中間処理後の再生利用量(⑬-⑭)

50

備考 1) ⑬～⑭は、法定様式に追加して、報告をお願いしています。 2) の部分に入力してください。

3) 次の2項目がゼロになるように、各欄に数値を入力してください。

項目	①-(②+③+④+⑬+⑭)	⑩-(⑥-⑧-⑨+⑬+⑭)
計算値	0	0
正誤チェック	正	正

計算値がゼロになり、正誤チェックが「正」になっていることを確認してください。

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。